

事務事業チェックシート

事務事業No 726 事業名 地方道整備事業（中平井線）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	1	道路の新設・改良の促進

事業種別	継続	
事業期間	H22	～ H28
事業実施の根拠法令	道路法、都市計画法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	道路建設課	米澤 範和 435-1087
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		道路橋梁費	
	目		地方道整備事業費	
	大事業		地方道整備事業	
事項		中・平井線		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	<p>市道中平井線は、現在事業中である第二阪和国道・和歌山岬道路の新設ランプと一般国道26号を結ぶ新設アクセス道路である。</p> <p>当該箇所を整備することにより、道路網のループ化による交通混雑の緩和及び関西国際空港、大阪方面へのアクセスの向上が図られ、新しいまちづくりや地域の活性化に寄与します。</p> <p>また、本道路は和歌山市地域防災計画における物資拠点及び防災ヘリポートである和歌山大学と東南海・南海地震対策としての防災拠点であるノーリツ鋼機を有効活用する道路であり、和歌山北部地域における防災上の重要な役割を担っています。</p>	<p>道路規格：第3種第3級 設計速度：50 km/h 延長：2,190 m 幅員：2.5 m (代表幅員) 総事業費：3,900百万円</p>				
実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	<p>道路新設工事 136,000千円 トンネル工事 400,000千円 (継続工事) トンネル設備工事 168,000千円 道路詳細設計 3,000千円 環境対策費 10,000千円</p>	<p>道路新設工事他 320,000千円 トンネル工事 656,000千円 (継続工事)</p>	<p>道路新設工事 8,000千円</p> <p>平成28年度終了</p>			

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	719,970	1,547,137	978,534	1,260,738	8,000	8,003				
伸び率 (%)	-	-	35.9%	▲18.5%	▲99.2%	▲99.4%	▲100.0%	▲100.0%	-	-
人件費										
正規職員	25,865	24,676	24,676	23,179	22,587	4,102				
正規職員以外	0	0	0	0	0	0				
小計	25,865	24,676	24,676	23,179	22,587	4,102				
国庫支出金	353,500	766,582	488,000	636,052	4,000	4,000				
県支出金										
市債	356,400	766,500	441,500	584,600	3,600	3,600				
その他										
一般財源 (税等)	10,070	14,055	49,034	40,086	400	403				
所要人数 (人)										
正規職員	3.40	3.32	3.32	3.05	3.05	0.51				
正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0				
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
成果指標	事業進捗状況	千円	目標値	719,970	976,000	8,000	
			実績値	1,546,494	1,258,775	8,002	
			達成度 (%)	214.8%	129.0%	100.0%	
活動指標			目標値				
			実績値				
			達成度 (%)				

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない(70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	
見直し・改善内容	